

船橋市健康スケールの回答データ等を用いたコホート分析の結果について

【目的】

「健康スケール」の回答データと要介護度の状態区分のデータを結びつけ群間比較するコホート分析を行うことで、当課で一般介護予防事業として実施している「ふなばしシルバーリハビリ体操」の効果検証や、24地区コミュニティごとの分析など、従来から行っている参加者数や教室の開催数などの定量評価に加えて、事業の質を測る定性評価を行った。

【主な調査内容】

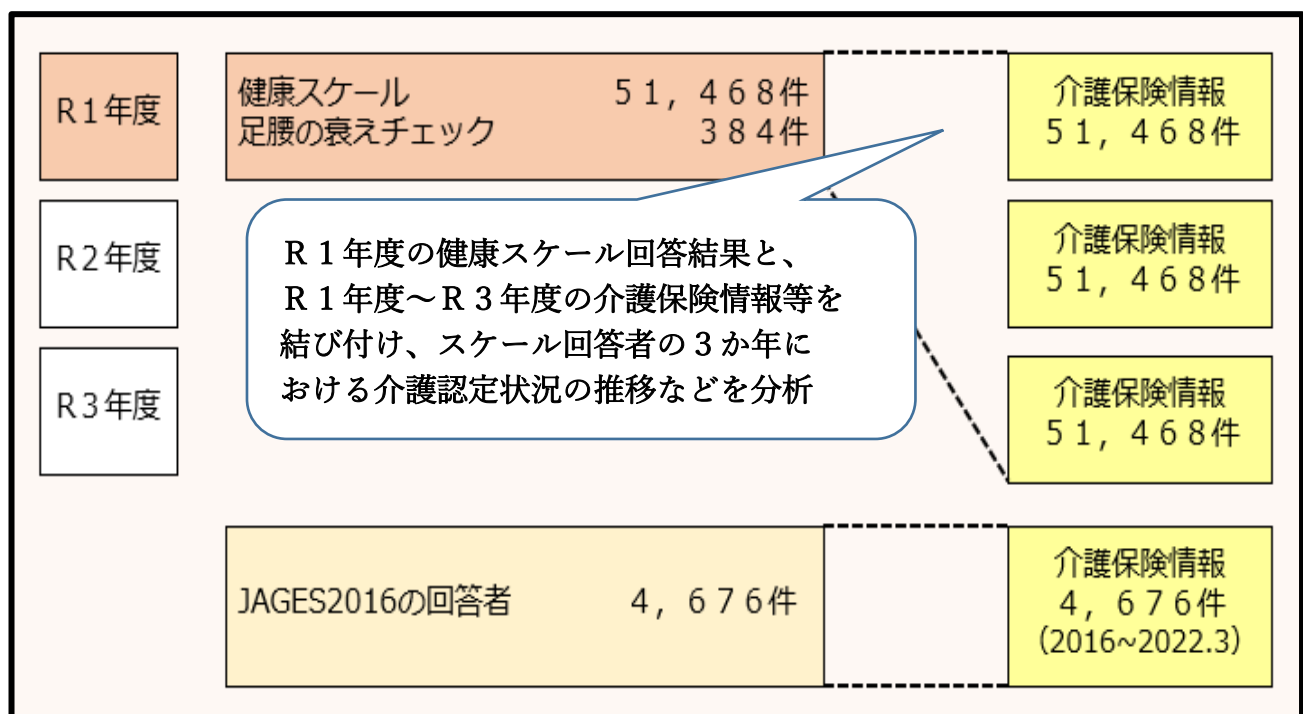
ふなばしシルバーリハビリ体操の事業評価

・船橋市において、ふなばしシルバーリハビリ体操をはじめとする通いの場に参加する者や参加頻度の多い者は、要支援・要介護状態等になりにくい、または要介護状態が進行しにくいを検証する。

船橋市内 24 地区コミュニティごとの地区分析

・船橋市健康スケール等の回答データと要介護状態等に関連があるか、地区コミュニティごとに検証する。

【分析方法】



【結果】

ふなばしシルバーリハビリ体操の事業評価

- ・ふなばしシルバーリハビリ体操の参加者は、何の活動にも参加していない者に比べ、月1回の参加で39%、月2～3回の参加で53%、要介護2以上の認定を受けるリスクが減る効果が確認された。
- ・ふなばしシルバーリハビリ体操以外のその他の運動・体操の参加者も、何の活動にも参加していない者に比べ、月2～3回の参加で25%、週1回以上の参加で39%、要介護2以上の認定を受けるリスクが減る効果が確認された。
- ・趣味・ボランティア活動の参加にも介護予防効果が確認された。

船橋市内24地区コミュニティごとの地区分析

- ・船橋市健康スケールを用いたリスク評価や元気度評価、またそれらを地域単位で集計した地域診断は、有益な事業であることが確認された。
- ・船橋市健康スケールとJAGES2016の各質問項目の要介護認定等に対する集団寄与割合をコミュニティごとに算出したことで、各地区で優先的に対策を取ることが望まれる課題や、解決に向けた手がかりが得られた。

ふなばしシルバーリハビリ体操（シルリハ）で、要介護2以上のリスクが減少！！

